

大阪教区教化体制策定の経緯と今後の方針について

盛夏の候、大阪教区のご寺院、ご門徒の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、教区教化事業の推進にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当委員会では、2015年度から新しい教化委員会体制で始動することを目標に、この一年間、協議、聞き取り、準備を精力的に進めてまいりました。新・教区教化体制の組織構成(案)、新・教区教化委員会規則(案)、また現教化体制から新教化体制へのスムーズな移行をめざしての新体制マニュアル(案)、年間スケジュール表(案)等も、期限の迫る中、急ピッチで会議を重ね作成もしてまいりました。しかしながら、全体的な調整を進めるにつけ、その作業があまりにも複雑かつ多岐にわたることから、新体制案について、事前に教区会議員の皆様にご説明させていただき、忌憚ないご意見を頂戴したいと、今年3月9日に教区会議員懇談会を開催させていただきました。

当日の議員懇談会では、全般にわたりたいへん多くのご意見を賜り、厳しいご指摘もいただきましたが、大阪教区の教化活動に対する皆様方の真剣な願いに接せられる時間ともなりました。

懇談会での大まかな協議内容を報告させていただきますと、当策定委員会では、現場とつながる教区教化の第一歩を可能な限り早く踏み出すため、まずは2014度中に教区教化委員会規則を改正し、2015年度から新・教区教化委員会を始動させ、その活動の流れの中で、教区教化センターや大阪真宗学院などの教化諸機関との協議を重ねつつ、連携と方向性を見出してゆきたいという意向でありました。しかしながら、懇談会において、教化委員会規則の全面改正は、教区教化センター及び大阪真宗学院などとの連携を十分に諮った上で、策定委員会からの最終報告を受け、教区の教化機関全体を総合的に整えた上で実施されるべきだというご意見を頂戴し、当委員会といたしましても、このご意見をたいへん重要なご指摘と受け止めました。

このような現状を総合的に思慮した結果、様々なご意見があろう

2015年8月1日

A4一枚で伝える

大阪教区教化体制策定委員会発行

策定ホットライン

第6号

教化体制策定
今後の方針



人が動く

人が出会う

情報交換が
出来る

情報が
活用される

人と情報をつなぐことが
教化活性化の第一歩と
考えています!

かと存じますが、現役職者の任期中をめぐり、教区教化センター及び大阪真宗学院、また各教化組織との連携を図った上で、改めて、規則の改正や組織の再構築に臨みたいと思います。

今後取り組みます課題を掲げさせていただきます。

- ・ 巡回未実施組の確認と対応
- ・ 門徒会・門徒の方々との懇談の機会の設定
- ・ 教化単位、即ち「教化センター」「教化委員会」「難波別院」のワークシェア（住み分け論）について
- ・ 教化体制スリム化のさらなる検討
- ・ 少子高齢化問題・住職を含めた寺族の研鑽の場の設定等の未具体化課題の検討
- ・ 同朋の会教導との懇談会
- ・ 各組巡回で聞き取った意見の確認と、課題集約及び具体化への模索

どうぞ、教区の皆様方におかれましては、引き続きまして今後も策定委員会にご協力とご意見を賜りますようお願い申し上げます。

大阪教区教化体制策定委員会

